

山岡議員団長の代表質問

3月予算議会

- ◆民主主義の根幹を揺るがす衆院選小選挙区開票事務における不適正事件について
- ◆市民のいのちと暮らしを守る立場から国政の焦点について
- ◆新年度予算案について
- ◆市民が関心の高い問題について
- ◆新しい庁舎に関する改善点について

3月議会今後の予定
12日～16日 予算決算常任委員会
19日 厚生文教常任委員会
20日 産業建設常任委員会
22日 総務常任委員会
26日 本会議最終日

3月1日代表質問 以下答弁の抜粋です

問 衆院小選挙区開票における不適正事件について事件が起きた要因、問題点は何か
市長の政治的責任をどう認識しているのか

市長 中枢の幹部職員が、今回の行為に及んだことは、公務員としての自覚、法令遵守に対する認識の欠如以外の何物でもない。今回の不祥事は、不測の事態に対応するための訓練ができていなかったことが原因である。市の幹部職員による不祥事であり、責任を重く認識している。組織体質を抜本的に改革することでその責任を果たさせていきたい。

選挙管理委員会委員長 不祥事の原因は、開票事務における法令遵守の意識の低さがある。また、開票事務従事者へのマニュアル配布や事前リハーサルを行っていたものの、共通理解が図れず、投票箱の受け渡しなどで計画通り機能しなかったこと、不測の事態への対策が想定されていなかったことにある。

問 ・無効票を水増しすることができた理由 ・未使用の投票用紙の県選管への報告状況 ・白票水増し事例を教訓とした抑止策は講じていなかったのか

選挙管理委員会委員長 ・各投票所で未使用の投票用紙は送致されたのち、開票会場内で保管されていた。
・今回は従前と異なり、早い段階において県選管から通知があり、そのことを失念しており県への報告ができていなかった。
・職員研修は法令解釈が中心。職員も委員も今回のようなことを抑止する研修はできていない。

問 第三者委員会のメンバー、発足時期、委員会に委ねること、自ら行わねばならないことは

選挙管理委員会委員長 外部の有識者で構成する委員会を早急に実施したい。責任体制の明確化や事務マニュアルの見直しなど選管として改善すべき事項については、第三者委員会を待たず速やかに取り組む。

問 市民の信頼を失墜させた反省をふまえ、今後どう生かすのか、今後の対応は

選挙管理委員会委員長 議員・市民の皆さま、多くの方々の信頼を大きく失墜させた行為であり、深く反省をしている。まずは、本件の検証を行うとともに、再発防止と選挙事務の適正化を図り、民主主義を支える選挙制度の信頼回復に努めたい。

問 市民のいのちと暮らしを守る立場から 核兵器禁止条約と憲法9条改正について市長の所信を問う

市長 核兵器禁止条約への参加は国の専管事項であり所見は差し控えるが、地球上から核兵器がなくなることを念じ、国民の生命と財産を守るため最善の対応を願う。憲法9条については、戦後の平和を守るうえで大きな役割を果たしてきたことは間違いのないところ。平和を維持するために憲法9条が今のままでいいのか、世界の安全保障状況も考慮しながら国民の生命と財産を守る為の責任ある国会での議論を望む。

問 市民が関心の高い課題について 旧甲賀病院跡地、庁舎周辺の利活用について市民の声はどう聞いたのか

市長 甲賀市区長連合会で意見を聞いたが、水口地域が中心となることから、水口地域区長会や庁舎周辺の自治会などを対象とし意見を聞いている。水口西保育園再編協議会の老朽化した保育園を建替える必要があるとの意見や、庁内協議、水口地域区長会の意見を踏まえ、旧甲賀病院跡地については、体育館と保育施設として利活用を図る方向で整備方針を決定した。その他、具体の事業化が決定していない庁舎周辺の土地の利活用については、現在協議を進めている。市案がまとまり次第、議会、市民の皆さまの意見を伺い事業化していきたい。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2018年3月11日 第206号



山岡 光広
甲南町森尻 16
TEL 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
TEL 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
TEL 66-0696
Fax 66-0696